



(片付け前)



治部 太一

皆さん、こんにちは。季節はすっかりと秋の装いを増している今日この頃ですが、早いもので天龍村で暮らし始めて半年が過ぎました。この半年の間、自分の中で「やりたいこと・やるべきこと・やれること」をいくつかリストアップして活動して来ました。その一つに空き家の片付け活動がありますので、少し報告させていただきます。

この活動は、空き家の掃除、修繕活動をSNS等を通じて、多くの人に天龍村での暮らしに興味や関心を持ってもらう事と、全国的に問題となっている空き家対策への取り組みという二つの目的を持って行っています。そのような経緯もあり、先般、天龍小学校の4年生のみんなと空き家の社会問題について話をする機会がありました。子供たちと色々と話中で「整理、整頓、掃除」の大切さとこれを習慣付ける事の意味などについて伝えることができたと感じています。地道な活動ですが、少しずつ、この場所を快適な空間にしていこうと考えています。



(作業継続中)



脇元まゆみ



奉納演奏



お宮での撮影



峠山の撮影



かつら大滝

9月27日は向方天照大神社での藍羽さん、小島千絵子さんの奉納演奏をさせて頂き、50名程の方々が見学にも来てもらい、私も演奏のお手伝いで衣裳を着て久しぶりに太鼓を打たせて頂きました。その後の撮影もお天気に恵まれ、向方の方々や見学にいらした方々にも参加していただきました。翌日は峠山や、かつら大滝での撮影も順調に進み、神原の自然に守られながら素敵な映像を撮ることが出来ました。出来上がりを楽しみにしててください。

動画関係以外では、小学生の植林、稲刈りのお手伝い。満島神社のお祭りに参加させて頂いたり、松島のお祭りのお手伝いもさせて頂き、沢山の方とお会してお祭りへの想いや、村のお話も聞けて、また天龍村の奥深さを感じました。



峠山での植林



小学校前稲刈り



十月の活動内容

蝉の鳴き声が止み、木々が紅く染まり始めて本格的な秋の季節となりました。えごまが収穫時期を迎え、自分の畑でも立派なえごまを収穫することができました。天龍村の歴史をまとめる活動については、皆さんにご覧いただけるような形にしていく作業を本格的に始めています。

畑について

集落支援員の佐々木さんをはじめとした方々にえごま収穫の方法を教えていただき、上手にえごまを収穫することができました。今後は収穫したえごまは、えごま油にしていきたいと考えています。

天龍村歴史まとめについて

まとめた内容の文章の校正と、見やすいようなかたちにするためのレイアウトおよびデザインの構成を行いました。また自分が何を伝えたいのか、なぜそれを伝えたいのかといった、歴史観を明確にしていく活動をしました。

天龍村の西側においては「熊谷家伝記」が文献として残っていますが、東側の歴史に関する文献があまりないため、飯田歴史研究所の연구원の方々と意見交換を行ってきました。また、天龍村誌の鈴木博先生の解釈は、従来の歴史解釈とは異なった解釈をしているので、そういった疑問点も質問していただきました。

「歴史は科学であり、文学であり、哲学である」と「國學院大學名誉教授の神川正彦氏が言っているのとおり、歴史は総合的の性格を有している学問であると感じます。であるからこそあいまいさがあり割り切れないところが多々ありますが、それが歴史のおもしろさなのかもしれません。



まっちゃんのホテルンソウ

〔神無月〕

報告者：松川友哉

●ご報告

お世話になっております。
 天気に恵まれた十月前半の週末は、多くのお客様に來場いただきました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。ご報告させていただきます。

●ご連絡

十月三十日（土）にキャンプ場にて、村民参加限定の移住者交流イベント「和知野川キャンプ場で遊ぶぼう」が行われます。焚き火の起こし方講座や、飲食の店、テントサウナ体験などを実施する予定です。村民の方なら誰でも参加いただけます。キャンプ場でお待ちしております。

●ご相談

引き続き村内を回らせていただきます。キャンプができるような場所をウロウロしたいと思います。よろしくお願ひします。

（松川携帯：090-4549-3223）

●和知野川キャンプ場売店 営業日：土・日・祝

営業時間：午前9時～午後6時

村内のお茶・肉・野菜・氷・キャンプ用品など販売中



お陰様で少しづつですが、薪が売れています



ていざなすはキャンプ場でも好評でした



満島神社秋祭りを見学させていただきました



ご報告

朝晩の気温がグッと下がり、秋の深まりをほとんど感じるようになりました。空の色と風がとも爽やかで、嬉しくなります。天龍村での生活も半年を過ぎました。この六か月、とにかく駆け足で過ぎていったなあという感じです。気づけばもう秋。この調子でなんだか年明けまで猛ダッシュで向かっていきそうな予感ですね。

十月になり、村に来て初めての「お祭り」を体験することができました。天龍村は、季節や地区によつて様々なお祭りが行われると聞いていたので、とても楽しみにしていました。実際にお宮の準備に参加させていただいたり、間近でお練りを見たりすることができ、改めて、皆さんの手によつて代々受け継がれてきたものなのだなあということを実感しました。

話は変わつて、買い物御用聞きでの活動のこと、やまびこテリの『10月の旬チラシ』でもお伝えしています。九月の下旬から配達員が二名体制（柳澤・前川）になりました。今まで西野さん、柳澤さんのお二人に甘えて頼りっぱなしだったので、西野さんや配達員にお伺いするお家の方々に心配をおかけすることの無いよう、しっかりせねばと自ら奮い立たせております。

これから迎える、初めての天龍村の冬。冬道がどういふものかをまだ知りませんが、一筋縄ではいかないであろうことは容易に想像できます。今のうちに危なそうな場所を確認しつつ、配達時の「気持ち」も冬支度していこうと思います。

おまけ

天龍小学校体育館のお別れイベントである一般公開に行ってみました。古いながらもしっかりとしりとした造りで特に天井を見上げると、圧巻という感じでした。たくさん卒業生を見送ってきた歴史ある体育館。寂しいですが、次の歴史へバトンタッチですね。



九月からの活動

(文・篠田 大樹)

八月の雨の影響もあって収量が落ちてしまった、ていざなすは少し元気になったものの収量は低調に推移してしまっていますがいなまち朝マルシエというイベントでの出店ではよく売れたのでよかったです。

お茶は九月から飲食店や宿泊施設、銭湯など五件も取り扱っていただけるところが増えました。紅茶を取り扱っていた話から緑茶も、というところもあり紅茶を始めたことで相乗効果も出ています。十月で管理作業がひと段落着くのでまた営業に力を入れていきたいと思っています。



The tea plantations of Nakaisamurai line the steep mountainsides ascending above the river. This formation limits the amount of sunlight and imbues the leaves with a sweetness along with a subtle bitterness, while also dictating that farmers must pick the tea by hand – as modern machinery cannot access the fields. Nakaisamurai tea is a 'first flush tea' only and as such, no pesticides are used.



Upon arrival at Nakaisamurai, you'll be greeted by a tea farmer and first enjoy a locally-made 'bento' lunchbox outside before you guided through the fields to pick tea for yourself and then brew your own pot of Nakaisamurai green tea. While the tea is brewing, you'll have the chance to go further above to take in the views of the remarkably beautiful landscape and capture those all-important photos.



また、外国人旅行者向けのツアーとして茶摘みツアーを取り入れる話を旅行関連会社からいただき、試験的なツアーも行いました。参加者も満足してくださったようで今後正式にツアーを行うことも決まりました。これからの魅力を発信していきたいと思

素晴らしい暮らし

あんなこと、こんなことやりたいと思っ
て着任した地域おこし協力隊。随分と環境
が整ってききました。自由になる家と庭、自
給自足のための畑・狩猟免許、いろんなモ
ノに加工できる木材。あくまで環境なので、
野菜が安定量収穫できるようになったとか、
イノシシ・シカを捕まえたとか、木を伐採
して薪・炭にしたとかの実績がないことが
気になります。あせらず自分のペースで
やっていこうと思います。

十一月からは所有者の許可を得て松島地
区で山林の間伐を始めます。伐採した木材
は暖房用の薪と調理用の炭にする予定です。
場所は中部電力上の坂を少し上った所とな
ります。今は獣除けの為にクラシックを流
しながら伐採場所まで登るための道を探っ
たり、ロープを張ったりしています。
安全第一で周辺のご迷惑にならないよう
気を付けますので、ご理解のほどよろしく
お願い致します。

(記 片山 素晴)

